

## 目次

- ア 学則変更（収容定員変更）の内容 . . . p. 2
- イ 学則変更（収容定員変更）の必要性 . . . p. 2
- ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 . . . p. 3

学則の変更の趣旨等を記載した書類

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和 6 年 4 月より神戸女子短期大学の各学科の入学定員を総合生活学科は 100 人から 40 人、食物栄養学科は 60 人から 40 人、幼児教育学科は 80 人から 40 人に変更し、完成年度の収容定員を全体で 480 人から 240 人に変更する。

神戸女子短期大学の各学科の詳細が下表のとおりとなる。

### 入学定員及び収容定員

学科名	現 行		変 更 後		備 考
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
総合生活学科	100 人	200 人	40 人	80 人	
食物栄養学科	60 人	120 人	40 人	80 人	
幼児教育学科	80 人	160 人	40 人	80 人	
合 計	240 人	480 人	120 人	240 人	入学定員 120 人減 収容定員 240 人減

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

神戸女子短期大学の各学科は、直近 5 年間継続して入学定員を下回り（表 2）、未充足の状況となっている。その要因としては 18 歳人口の減少、全国的に短期大学の入学志願者動向が減少傾向で、志願者数の減少がある（表 1）。これらの状況を踏まえ安定的に定員を充足できるよう、令和 6 年度より神戸女子短期大学の各学科の入学定員及び収容定員を減じて適正規模に変更する。

■表 1 短期大学全体の入学定員・入学志願者数・入学定員充足率推移

年度（西暦）	30 年度 (2018)	元年度 (2019)	2 年度 (2020)	3 年度 (2021)	4 年度 (2022)	平均	5 年間の 減少人数
入学定員（人）	58,161	55,885	53,717	52,242	50,857	54,172	7,304
志願者数（人）	75,631	72,587	70,019	60,363	53,436	66,407	22,195
定員充足率（%）	88.06	87.15	87.31	82.56	77.59	84.53	—

日本私立学校振興・共済事業団「平成 30（2018）年度から令和 4（2022）年度の私立大学・短期大学入学志願動向」

より抜粋し、本学で作成

各学科の直近5年間の平均入学者数と平均入学定員充足率は総合生活学科が75.4人で68.5%、食物栄養学科が56.8人で68.9%、幼児教育学科が51.0人で56.3%となり、全ての学科が入学定員未充足の状況である（表2）。幼児教育学科においては、令和5年度の入学者数が急激に減少している。これは「リクルート入試実態調査」の集計データによると保育・児童系統だけではなく、本短期大学が設置している栄養・食物学、服飾・被服学の全てが衰退期となっており、志願者数減少傾向の影響を大きく受けていると思われる。さらに、短期大学全般においても志願者、入学定員充足率ともに減少傾向であり、今後も継続すると考えられることから各学科の入学定員は、総合生活学科を100人から40人、食物栄養学科60人から40人、幼児教育学科80人から40人とし、短期大学全体の入学定員は120人、収容定員を240人とする。

■表2 神戸女子短期大学各学科の入学者数等推移

学科名 ※(定員)	年度 (西暦)	元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	平均
総合生活学科 ※120(100)	入学者数(人)	98	108	68	61	42	75.4
	定員充足率 (%)	81.6	90.0	68.0	61.0	42.0	68.5
食物栄養学科 ※120(60)	入学者数(人)	89	65	54	42	34	56.8
	定員充足率 (%)	74.1	54.1	90.0	70.0	56.6	68.9
幼児教育学科 ※100(80)	入学者数(人)	80	68	43	42	22	51.0
	定員充足率 (%)	80.0	68.0	53.7	52.5	27.5	56.3

※：令和2(2020)年度までの入学定員

## ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

### (ア) 教育課程の変更内容について

今回の学則変更(収容定員変更)に伴う変更はない。共通教養科目の一部を近隣の神戸学院大学、兵庫医科大学、神戸女子大学で連携協定を締結し、「ポーアイ4大学共通教養科目」の「教養科目」をカリキュラムに含めていたが、神戸女子短期大学の正規科目でないことから、臨時開講科目として扱い、開講が認められた場合には、「大学間連携科目」として、別枠で表記するものとした。この変更による各学科間への影響を与えるものではない。

### 総合生活学科

衣・食・住を含む生活空間、及び情報・ビジネス、コミュニケーション、心理まで人生を豊かにするさまざまな要素を一步深めて学び、生活に関わる種々の課

題を自らの目線で能動的に捉え、講義・演習・実習等を通して、より高い次元で問題解決を図ろうとする意欲と実践力を身に付け、自らのキャリアプランに応じて科目を選択して総合的に学べるよう体系的な教育課程を編成している。今回の学則変更（収容定員変更）に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、定員減によりよりきめ細かい教育を提供することで、変更前と同等以上の内容が担保でき、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

### 食物栄養学科

「人間性豊かな食と健康のクリエイション」をスローガンに、時代が求める「食」のスペシャリストの育成を目指し、食と健康に関わる諸問題について系統的な研究と教育を行う。設定している栄養士資格に関する科目、選択科目とする教育課程においては、「栄養士実務技術演習」を栄養士校外実習および栄養士としてのキャリアプラン作成への導入に繋げることを到達目標とする講義概要に変更し、「栄養士へのアプローチ」の授業内容と連動することとした。また、科目名も「栄養士へのアプローチ」は「栄養士へのアプローチⅠ」、「栄養士実務技術演習」を「栄養士へのアプローチⅡ」とし、充実した設備や外部との連携を活かした実験・実習を数多くこなし、社会で即戦力となる技術を磨き、栄養士業務への理解を深め、将来の進路選択につながるよう教育の充実を図るなど、栄養士免許を取得するための法的に定められている教育課程となっている。今回の学則変更（収容定員変更）に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、定員減によりクラス数を 2 クラスから 1 クラスに変更するが、変更前と同等以上の内容を担保し、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

### 幼児教育学科

人間の成長や発達について、保育・教育の方法についての専門性を深めるための教育研究を行い、子どもへの愛情にあふれ、職場の人々や子どもの保護者、さらに地域社会と豊かに交わるための高いコミュニケーション力を持った保育者として、地域に数多くある幼稚園や保育園と交流し、子どもと触れ合いながら、学びを実践する経験を増やしている。2年次では、専門性を高めるためのゼミ形式の演習があり、造形表現、ピアノなど興味ある専門分野の学びを深める教育課程を編成している。幼稚園教諭二種免許や保育士資格を取得するために法的に定められている教育課程となっており、過密になっている時間割を見直し学生の主体的な学びの機会を確保し、より効果的な教授内容とするため、科目の統合や廃止、開講期の変更など、教育の質を担保しつつ教育課程のスリム化を図ったが、定員減によりよりきめ細かい教育を提供することで、今回の学則変更（収容定員変更）に伴う卒業要件に係る教育課程の変更はなく、変更前と同等以上の内容が担保で

きており、教養科目等他学科への影響を与える授業科目等はない。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

##### 総合生活学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 100 人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、学科基礎科目で講義形式の授業、ならびに演習・実習を通して生活全般にわたる基礎的知識や技術を広く教授し、専門科目では、社会や生活にかかわる専門的な分野を学生が自己の目的に応じた一貫性のある学習プランを計画し、講義・演習・実技など科目の特性に応じた充実した教育方法とし、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行う。また、クラスに担任及び副担任を配置していることから、よりきめ細やかな学修支援にあたることが可能であり、この体制を維持することにより変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

##### 食物栄養学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 60 人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、講義・演習・実験・実習・実技など科目の特性に応じた更に充実した教育方法とし、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行う。本学科のクラス数を 2 クラスから 1 クラスにするが、クラス担任制を設けており、クラスに担任及び副担任を配置していることから、きめ細やかな学修支援にあたることが可能となっている。この体制を維持することにより、変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

##### 幼児教育学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 80 人の規模で編成しているが、卒業要件に係る教員組織の変更は行わず、自立心に富み、対話力と創造性にすぐれた女性の育成を目指し、表現科目（音楽・美術・身体）では、教育・保育現場の多様な場面を見据えた実技を行うことにより、創造性を形成する。また、アクティブラーニングの視点に立った授業では、知識の修得だけでなく主体的な学びを促し、他者との協調・協働を取り入れながら独創的な発想を生み出す資質・能力を身につける教育方法とし、少人数制で取り組み、個々の学生に対応した丁寧な履修指導を行う。さらに、

クラス担任制を設けており、担任及び副担任を配置していることから、きめ細やかな学修支援にあたることが可能となっている。この体制を維持することにより、変更前と同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

#### (ウ) 教員組織の変更内容について

##### 総合生活学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 100 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、卒業要件に係る科目を担当する専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 100 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

##### 食物栄養学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 60 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、卒業要件に係る科目を担当する専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 60 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

##### 幼児教育学科

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う変更はない。従来の教員組織は入学定員 80 人の規模で編成しているが、入学定員変更後も、専任教員数の変更はなく教員組織を入学定員 80 人の規模を維持するため、変更前より同等以上の内容を担保する。

なお、学則変更（収容定員変更）による他学科への影響はない。

#### (イ) 短大全体の施設・設備の変更内容について

短大全体の施設は、本学園が設置している神戸女子大学健康福祉学部、看護学部、心理学部と同じポートアイランドキャンパスに設置されている。そのため、短大の専用部分は施設全体の一部であり、ほとんどが共用部分となっている。

今回の学則変更（収容定員変更）に伴い専用部分の施設及び設備については、変更はない。

### **総合生活学科**

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図ることで、現在と同等以上の内容が担保されている。

### **食物栄養学科**

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図り、クラス数を現行の2クラスから1クラスでの運用とし、1クラス当たりの人数は40人で施設として充分対応できるものであり、ゆとりある施設・設備で、変更前より同等以上の内容が担保されている。

### **幼児教育学科**

本学科の専用の施設及び設備については、現在の施設・設備を継続する。共用で使用している講義室等については同キャンパス内で引き続き調整を図ることで、現在と同等以上の内容が担保されている。

上述のとおり、変更前と同等以上の教育の質を担保し、各学科の教育目標に則り、学科教育の更なる充実を図る。

(添付資料)

資料1. 教育課程等の概要（総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科）



別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要															
(総合生活学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○									兼3 オムニバス
	衣生活の知識	1後		1			○				1	1			オムニバス
	食事学	1前		2		○						1			兼1 オムニバス
	食品科学	1後		2		○									兼3 オムニバス
	体育講義	1後		2		○									兼1
	体育実技	1後		1				○							兼1
	小計 (6科目)	—	0	10	0	—	—	—	—	—	0	1	2	0	0
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	1前		2		○									兼1
	心理学 I	1前		2		○									兼4 オムニバス
	英会話	1前・1後		1			○								兼1
	英語コミュニケーション(a)	1前	1				○								兼2
	英語コミュニケーション(b)	1後	1				○								兼2
	英語講読(a)	1前		1			○								兼1
	英語講読(b)	1後		1			○								兼1
	フランス語 I	1前		1			○								兼1
	フランス語 II	1後		1			○								兼1
	中国語 I	1前		1			○								兼1
	中国語 II	1後		1			○								兼1
	イタリア語 I	1前		1			○								兼1
	イタリア語 II	1後		1			○								兼1
	日本語入門	1前		2		○									兼1
海外語学演習	1後		3			○								兼1	
小計 (15科目)	—	2	18	0	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	兼14 —
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○								兼1
	芸術表現学	1後		2		○									兼1
	音楽鑑賞	1前		1			○								兼1
	日本文学	1後		2		○									兼1
	日本の伝統文化	1前		2		○									兼1
小計 (5科目)	—	0	8	0	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	兼5 —
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチ I	1前		2		○				1					兼1 共同
	キャリアへのアプローチ II	1後		1			○			1			1		兼2 共同
	数学 I	1前		2		○									兼1
	数学 II	1後		2		○									兼1
	情報A	1前		2			○			1					兼2
	情報B	1前		2		○				1					兼2
小計 (6科目)	—	0	11	0	—	—	—	—	2	0	0	0	1	兼5 —	
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○									兼1
	神戸学	1前		2		○									兼3
	日本の生活文化	1後		2		○				1					
	ボランティアの実践	1通		1							1				
	日本国憲法	1前・1後		2		○									兼1
小計 (5科目)	—	0	9	0	—	—	—	—	0	1	1	0	0	兼5 —	
インターンシップ	1通			1				○	1						
小計 (1科目)	—	0	0	1	—	—	—	—	1	0	0	0	0	—	—

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科基礎科目	必修科目	総合生活論	1前	2			○			2	2	2		1	兼1	
		基礎ゼミ	1後	1				○		2	2	2		2	兼1	
		総合生活演習	2通	2				○		2	2	2			兼1	
	選択科目	被服学	1前		2			○				1				
		食品学	1前		2			○			1					
		住居学	1前		2			○		1						
		情報社会論	1前		2			○								
		生活経営	1前		2			○								
		健康管理概論	1後		2			○							兼1	
		消費生活論	2前		2			○							兼1	
		家族関係	1後		2			○							兼1	
		被服構成基礎実習	1前		1					○			1		1	
		調理基礎実習	1前		1					○			1		1	兼1
		住居デザイン基礎実習	1前		1					○		1			1	兼1
情報基礎演習	1後		1				○		1					兼1		
小計 (15科目)	—	5	20	0			—		2	2	2	0	2	兼6		
服飾デザイン	色彩学	1前		2			○							1	兼1	
	洋裁基礎演習	1後		1				○				1		1		
	被服材料学	1後		2			○				1					
	繊維学実験法	1後		2			○				1			1		
	被服構成実習 (和裁)	2前		1					○			1		1		
	染色学	2後		2			○				1					
	ファッションデザイン論	2前		2			○								兼1	
	ファッションビジネス論	2後		2			○								兼1	
	フードデザイン	製パン・製菓実習	1前		1					○			1		1	兼1
		調理学実習	1後		1					○			1		1	兼1
栄養学		1後		2			○				1					
調理学		1後		2			○								兼1	
食品加工学		2前		2			○				1					
食品学演習		2前		1				○			1				兼1	
食品加工学実習		2後		1					○		1			1		
食品衛生学		2後		2			○								兼1	
食生活論		1後		2			○								兼1	
フードコーディネーターの基礎		2前		2			○								兼1	
フードコーディネーター実習	2後		1					○			1					
選択科目	住居デザイン	住まいの法規	1前		1			○							兼1	
		住まいの施工	1前		1			○							兼1	
		住まいの構法	1後		2			○				1			兼1	
		インテリアコーディネーター概論	1後		2			○				1				
		インテリア設計製図	1後		1					○		1			1	
		建築CAD演習	1後		1				○							兼2
		インテリアデザイン論	2前		2			○				1				
		住居計画学	2後		2			○								兼1
		住居デザイン実習 I	2前		1					○		1			1	
		住居デザイン実習 II	2後		1					○		1			1	
	住まいの構造	2後		2			○								兼1	
	住まいの材料	2後		2			○								兼1	
	宅地建物と法	1前		2			○				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報・ビジネス	情報科学	1後		2		○			1						兼1
	コンピュータ応用	2前		2		○			1						兼1
	秘書ビジネス論	1前		2		○									兼1
	秘書実務Ⅰ	1後		1			○		1						兼1
	秘書実務Ⅱ	1後		1			○		1						兼1
	社会調査論	2前		2		○									兼1
	マーケティング論	1後		2		○									兼1
	経営会計実務処理	2後		2		○									兼1
	医療事務概論	1後		2		○									兼1
	コミュニケーション	プレゼンテーション概論	1前		2		○			1					
プレゼンテーション演習Ⅰ		1前		1			○		1						兼1
プレゼンテーション演習Ⅱ		1後		1			○		1						兼1
プロジェクト演習		2前		1			○		1						兼1
ビジネスコミュニケーション		2前		1			○		1						兼1
日本語表現		1前		2		○			1						兼1
ビジネス英語コミュニケーションⅠ		2前		2		○									兼1
ビジネス英語コミュニケーションⅡ		2後		2		○									兼1
実践資格英語Ⅰ		1前		1			○								兼1
実践資格英語Ⅱ		1後		1			○								兼1
選択科目	心理	ビューティー心理学	1後		2		○								兼1
		犯罪心理学	1後		2		○								兼1
		恋愛心理学	2後		2		○								兼1
		音楽心理学演習	2前		1			○							兼1
		カウンセリング論	2後		2		○								兼1
キャリアデザイン	ブライダル・プランナーⅠ	1前		2		○				1					兼1
	ブライダル・プランナーⅡ	1後		2		○				1					兼1
	ブライダルコーディネーター論	2前		2		○									兼1
	ブライダルコーディネーター演習	2後		1			○								兼1
	メイクアップ論	1前		2		○									兼1
	メイクアップ演習	1後		1			○						1		兼1
	ネイルアート演習	1後		1			○								兼2
小計(63科目)	—	0	101	0	—	—	—	2	2	2	0	2	兼28	—	
合計(116科目)		—	7	177	1	—	—	—	2	2	2	0	2	兼60	—
学位又は称号		短期大学士(総合生活学)			学位又は学科の分野			家政関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：50単位(年間))								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			105分				

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要														
(食物栄養学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○			1					兼2 オムニバス
	衣生活の知識	1後		1			○							兼2 オムニバス
	食事学	1前		2		○				1				兼1 オムニバス
	食品科学	1後		2		○				2	1			オムニバス
	体育講義	1後		2		○								兼1
	体育実技	1前	1					○						兼1
	小計 (6科目)	—	1	9	0		—		1	3	1	0	0	兼6 —
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	1前		2		○								兼1
	心理学 I	1前		2		○								兼4 オムニバス
	英会話	1前・1後		1			○							兼1
	英語コミュニケーション(a)	2前	1				○		1					
	英語コミュニケーション(b)	2後	1				○		1					
	英語講読(a)	1前		1			○							兼1
	英語講読(b)	1後		1			○							兼1
	フランス語 I	1前		1			○							兼1
	フランス語 II	1後		1			○							兼1
	中国語 I	1前		1			○							兼1
	中国語 II	1後		1			○							兼1
	イタリア語 I	1前		1			○							兼1
	イタリア語 II	1後		1			○							兼1
	日本語入門	1前		2		○								兼1
	海外語学演習	1後		3			○							兼1
	小計 (15科目)	—	2	18	0		—		1	0	0	0	0	兼12 —
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○							兼1
	芸術表現学	1後		2		○								兼1
	音楽鑑賞	1前		1			○							兼1
	日本文学	1後		2		○								兼1
	日本の伝統文化	1前		2		○								兼1
	小計 (5科目)	—	0	8	0		—		0	0	0	0	0	兼5 —
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチ I	1前		2		○					1			兼1 共同
	キャリアへのアプローチ II	1後		1			○				1		1	兼2 共同
	数学 I	1前		2		○								兼1
	数学 II	1後		2		○								兼1
	情報A	1前		2			○							兼2
	情報B	1前		2		○								兼1
		小計 (6科目)	—	0	11	0		—		0	0	1	0	1
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○								兼1
	神戸学	1前		2		○								兼3
	日本の生活文化	1後		2		○								兼1
	ボランティアの実践	1通		1						1				
	日本国憲法	1前・1後		2		○								兼1
	小計 (5科目)	—	0	9	0		—		0	1	0	0	0	兼6 —
	インターンシップ	1通			1			○			1			
	小計 (1科目)	—	0	0	1		—		0	0	1	0	0	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専門基礎科目	公衆衛生学	2前		2		○								兼1
	社会福祉論	2後		2		○								兼1
	解剖学	1前		2		○			1					
	生化学	1後		2		○			1					
	生理学	1後		2		○			1					
	臨床医学概論	2後		2		○								兼1
	基礎食品学	1前	2			○								兼1
	応用食品学	2後		2		○					1			
	食品衛生学	1前	2			○					1			
	解剖生理学実習	2前		1				○	1	1			1	オムニバス・共同(一部)
	生化学実験	2後		1				○		1			1	
	食品学実験	1前		1				○		1	1		1	
	食品衛生学実験	1後		1				○			1		1	
小計 (13科目)	—	4	18	0	—	—	—	1	1	1	0	0	兼4	—
専門科目Ⅰ	基礎栄養学	1前	2			○				1				
	応用栄養学	1後		2		○				1				
	臨床栄養学	2前		2		○			1		1			兼1
	健康食育論	2前		2		○								兼1
	栄養教育・指導論	1後		2		○				1				
	栄養カウンセリング論	2前		2		○				1				
	栄養情報処理演習	1後		1			○							兼1
	公衆栄養学	2前		2		○								兼1
	給食計画実務論	1前		2		○								兼1
	調理学	1前	2			○				1				
	給食運営管理実習Ⅰ	1後		1				○					1	兼1
	給食運営管理実習Ⅱ	2前		1				○					1	兼1
	校外実習	2前・後		1				○		1	1			共同
	栄養教育・指導論実習	2前		1				○		1				
	栄養学実習Ⅰ	2前		1				○		1			2	兼1
	栄養学実習Ⅱ	2後		1				○		1				兼2
	臨床栄養学実習	2後		1				○		1			2	
調理学実習Ⅰ	1前	1					○			1			兼1	
調理学実習Ⅱ	1後		1				○		1				兼1	
クリエイティブクッキング	2後		1				○		1	1		1		
小計 (20科目)	—	5	24	0	—	—	—	1	3	1	0	3	兼7	—
専門科目Ⅱ	やさしい生物	1前		2		○					1			
	やさしい化学	1前		2		○								兼1
	スポーツ栄養学	2後		2		○			1	1				オムニバス・共同(一部)
	食物栄養学セミナー	2後		1			○		1	1	1			
	食物アレルギー論	1後		2		○			1	1				
	アレルギー対応食実習	2後		1				○					1	兼1
	栄養士へのアプローチⅠ	1前		2		○				1				兼1
	栄養士へのアプローチⅡ	1後		2		○					1			
	食文化栄養学セミナー(「食」と神戸)	1後		1			○		1					
	食品加工学	1後		2		○				1				
調理学実習Ⅲ(食品加工学実習、製菓・製パンを含む)	2前		1				○		1			1		
小計 (11科目)	—	0	18	0	—	—	—	1	3	2	0	1	兼3	—
合計 (82科目)		—	12	115	1	—	—	—	2	3	2	0	3	兼45
学位又は称号	短期大学士(食物栄養学)	学位又は学科の分野				家政関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：50単位（年間）)	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	13週
	1 時限の授業時間	105分

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要														
(幼児教育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
心身の健康科目群	教育学	1後		2		○			1	1				兼1 オムニバス
	衣生活の知識	1後		1			○							兼2 オムニバス
	食事学	1前		2		○								兼2 オムニバス
	食品科学	1後		2		○					1			兼3 オムニバス
	体育講義	1前		2		○					1			
	体育実技	2前		1				○						
	小計 (6科目)	—	0	10	0	—	—	—	1	1	1	0	0	兼8 —
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	1前		2		○								兼1
	心理学 I	1前		2		○								兼4 オムニバス
	英会話	1前・1後		1			○							兼1
	英語コミュニケーション(a)	1前	1				○							兼1
	英語コミュニケーション(b)	1後	1				○							兼1
	英語講読(a)	1前		1			○							兼1
	英語講読(b)	1後		1			○							兼1
	フランス語 I	1前		1			○							兼1
	フランス語 II	1後		1			○							兼1
	中国語 I	1前		1			○							兼1
	中国語 II	1後		1			○							兼1
	イタリア語 I	1前		1			○							兼1
	イタリア語 II	1後		1			○							兼1
	日本語入門	1前		2		○								兼1
	海外語学演習	1後		3			○							兼1
	小計 (15科目)	—	2	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼13 —
感性を磨く科目群	造形美術	1前・1後		1			○							兼1
	芸術表現学	1後		2		○			1					
	音楽鑑賞	1前		1			○			1				
	日本文学	1後		2		○								兼1
	日本の伝統文化	1前		2		○			1					
	小計 (5科目)	—	0	8	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼2 —
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチ I	1前		2		○								兼2 共同
	キャリアへのアプローチ II	1後		1			○							兼4 共同
	数学 I	1前		2		○								兼1
	数学 II	1後		2		○								兼1
	情報A	1前		2			○					1		兼1
	情報B	1前		2		○								兼1
	小計 (6科目)	—	0	11	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7 —
社会を理解する科目群	子どもと社会	1後		2		○			1					
	神戸学	1前		2		○			1					兼2
	日本の生活文化	1後		2		○								兼1
	ボランティアの実践	1通		1						1				
	日本国憲法	1前・1後		2		○								兼1
	小計 (5科目)	—	0	9	0	—	—	—	2	1	0	0	0	兼4 —
	インターンシップ	1通			1			○	1					
	小計 (1科目)	—	0	0	1	—	—	—	1	0	0	0	0	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	幼児と健康	2後		2		○					1				
	幼児と人間関係	2後		2		○			1						
	幼児と環境	1前		2		○			1						
	幼児と言葉	2後		2		○			1						
	幼児と表現Ⅰ	2前		2		○					1				
	幼児と表現Ⅱ	2前		2		○			1						
	保育内容の指導法(健康)	1後		1			○		1						
	保育内容の指導法(人間関係)	1前		1			○		1						
	保育内容の指導法(環境)	1後		1			○		1						
	保育内容の指導法(言葉)	1前		1			○		1						
	保育内容の指導法(表現Ⅰ)	1後		1			○				1				
	保育内容の指導法(表現Ⅱ)	1後		1			○		1						
	保育内容の指導法(表現Ⅲ)	2前		1			○				1				
	小計(13科目)		—	0	19	0	—	—	—	4	0	2	0	0	—
教育の基礎的理解に関する科目	教職原論	1前	2			○			1						兼1
	教育原理(教育史及び社会的、制度的又は経営的事項を含む)	1前	2			○				1					兼1
	教育心理学	1後	2			○									
	特別支援教育	1後		2		○									
	教育課程論	1前		2		○			1						
	教育課程論演習	1後		1			○		2						オムニバス・共同(一部)
小計(6科目)		—	6	5	0	—	—	2	1	0	0	0	0	兼2	
及びの生時等指導の指導法に関する科目	教育の方法・技術	2後		2		○			1						
	幼児理解の理論・方法	1前		2		○				1					
	教育相談の理論・方法(カウンセリングを含む)	2後		2		○				1					
小計(3科目)		—	0	6	0	—	—	1	1	0	0	0	0	—	
教育実践に関する科目	教育実習指導	1後		1			○		2	1					オムニバス
	教育実習	2通		4				○	1						
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2後		2				○	3	1					共同
	小計(3科目)		—	0	7	0	—	—	3	1	0	0	0	0	—
教職関連科目	教育情報処理演習	1後		1				○					1		兼1
	学科特別演習Ⅰ	2前	1					○	3	1	1				
	学科特別演習Ⅱ	2後	1					○	3	1	1				
	保育者のキャリア形成論	1後		2		○			2						オムニバス・共同(一部)
	音楽A	1前		1				○			1				兼9
	音楽B	1後		1				○			1				兼9
	音楽C	2前		1				○			1				兼8
小計(7科目)		—	2	6	0	—	—	6	2	2	0	1	1	兼10	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
保育に関する専門科目	保育原理	1前	2			○			1							
	子ども家庭福祉	2前		2		○			1							
	社会福祉	1前		2		○			1							
	子ども家庭支援論	1後		2		○			1							
	社会的養護Ⅰ	1後		2		○			1							
	社会的養護Ⅱ	2前		1			○		1							
	保育者論	1前	2			○			1							
	子ども家庭支援の心理学	1後		2		○				2						オムニバス
	子どもの理解と援助	2前		1			○			1						
	子どもの保健	2前		2		○										兼1
	子どもの食と栄養Ⅰ	2前		1			○									兼2
	子どもの食と栄養Ⅱ	2後		1			○							1		兼1
	保育内容総論	1前		1			○			1						
	乳児保育Ⅰ	1前		2		○				1						
	乳児保育Ⅱ	1後		1			○			1						兼1
	子どもの健康と安全	2後		1			○							1		兼1
	障害児保育Ⅰ	2前		1			○			1						
	障害児保育Ⅱ	2後		1			○			1						兼1
	子育て支援	2前		1			○			1						
	保育実習Ⅰ（保育所）	1後		2				○		1	1					共同
	保育実習Ⅰ（施設）	2前		2				○		1						
	保育実習指導Ⅰ（事前）	1後		1				○		2	1					オムニバス・共同（一部）
	保育実習指導Ⅰ（事後）	2後		1				○		2	1					オムニバス・共同（一部）
	食育論（子どもと食生活）	1後		2			○									兼1
	在宅保育	2後		2			○				1					
	造形表現研究	2前		1				○		1						
	保育実習Ⅱ	2後		2					○	1	1					共同
	保育実習Ⅲ	2後		2					○	1						
	保育実習指導Ⅱ	2前		1				○		1	1					共同
	保育実習指導Ⅲ	2前		1				○		1						
小計（30科目）		—	4	41	0	—	—	—	3	2	0	0	2	兼6	—	
合計（100科目）		—	14	140	1	—	—	—	6	2	2		2	兼47		
学位又は称号	短期大学士（幼児教育学）		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
卒業要件として、教養科目12単位以上、専門科目50単位以上の合計62単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：50単位（年間））						1学年の学期区分			2期							
						1学期の授業期間			13週							
						1時限の授業時間			105分							